



©Yuki Asada

## エジプトでモノづくり大作戦!

さんさん  
燦々と降り注ぐ太陽の下、カイロ市内の広場に色とりどりのテントが並ぶ。週末恒例のバザーの日。何か掘り出し物はないかと、人々が楽しそうに行き交っている。

その中で、エジプトらしい異国情緒あふれる小物がひととき目を引いた。店先で立ち止まるお客に説明するのは、国内で活動する青年海外協力隊員たち。店の名は「EGYPTIAN HANDICRAFTS」。JICAボランティアが中心となって立ち上げたモノづくりブランドだ。

長年にわたり、エジプト各地でモノづくりを通じた職業訓練を支援してきたJICA。しかし、「せっかく良い製品がで

きても、販路を定着させるのが難しかった」と、JICAエジプト事務所の石島和彦さんはいう。そこで設立されたのが「EGYPTIAN HANDICRAFTS」。JICAの支援を通じて生まれた製品に共通のロゴを付けてブランド化し、品質改善、販路開拓、ディスプレイ、包装などに協働で取り組む。

協力隊員と共にモノづくりに励むのは、地元の女性、ストリートチルドレン、障がい者たち。ナツメヤシやオリーブ、羊毛など、各地域の素材を活用した新製品は、品質の良さにも定評がある。

次のバザーではどんな製品に出会えるのだろう。そんな楽しみが、カイロ市民の間に広まっている。



バザーで製品を販売する協力隊員。安定した収入確保のため現地企業とのタイアップも構想中だ



シニア海外ボランティアによるデザイン。重なり合う手と手で形作られたハートの真ん中に、古代エジプトを象徴する「ホルスの目」を描いた

★マグカップを1人、コインケースを2人、ティッシュケースを1人の方にプレゼント!詳細は38ページへ→

